

1. 科目名 (単位数)	基礎演習 I (2単位)	3. 科目番号	JNCD1101
2. 授業担当教員	中村 裕、松本 岳志		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	本講義では、将来保育者や教育者といった子どもに関わる専門家になるための基礎的な知識を身につける。また、受講者が自分の将来像について練り上げていくための機会となることをねらいとし、将来子どもの専門家としての職責を担うための土台をつくることを目指す。		
8. 学習目標	1 「社会人」として必要な態度を習得する。 2 「子どもに関わる専門家」として必要な基礎的知識・考え方を習得する。 3 自己を知り、自己表現を養う。 4 自己の職業観を育み、自分の将来像を練り上げる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	それぞれの教員が、提出物及びレポート課題を課す。詳細は、それぞれの教員が授業中に指示する。		
10. 教科書・参考書・ 教材	<b>【教科書】</b> 『保育の仕事がわかる本』日本実業出版社 <b>【参考書】</b> ・石川昭義・小原敏郎編著『保育者のためのキャリア形成論』建帛社 2015 ・『社会人基礎力 社会で働くための基礎を学ぶ』FOM 出版 2010 ・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領 ・東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1 「社会人」として必要な態度を習得しているか。 2 「子どもに関わる専門家」として必要な基礎的知識・考え方を習得しているか。 3 自己を知り、自己表現を養ったか。 4 自己の職業観を育み、自分の将来像を練り上げたか。 ○評定の方法 課題の取り組み状況 40%、授業内小テスト 30%、授業への取り組み姿勢 30%		
12. 受講生への メッセージ	この授業は、社会人として必要とされる基礎的な知識や、子どもに関わる専門家としての基礎的知識を身に付ける科目です。講義を聴くだけでなく、皆さんの将来に直結する様々な演習課題に取り組みます。近い将来、保育職として活躍する自分の姿を想像し、緊張感や熱意を持って授業に臨んでください。		
13. オフィスアワー	後日通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	社会人の基礎力について	事前学習	社会人になるとはどのようなことか、どのような資質・能力が求められるのか熟考しておくこと。
		事後学習	社会人が身に付けるべき基礎力について復習し、理解を深める。
第2回	前に踏み出す力 (アクション) : 主体性・実行力について	事前学習	社会人として主体性と実行力についてどのようなことなのか考えておく。
		事後学習	前に踏み出す力について再度考え、今後の生活に活かせるようにする。
第3回	考え抜く力 (シンキング) : 課題発見力・計画性・創造力について	事前学習	課題発見力・計画性・創造力があることは社会人にとってどのようなメリットがあるのか考えておく。
		事後学習	考え抜く力について再度考え、今後の生活に活かせるようにする。
第4回	チームで働く力 (チームワーク) : 傾聴力・柔軟性・情況把握力・規律性について	事前学習	傾聴力・柔軟性・情況把握力・規律性があることは社会人にとってどのようなメリットがあるのか考えておく。
		事後学習	チームで働く力について再度考え、今後の生活に活かせるようにする。
第5回	保育者のためのキャリア形成① ・「キャリアを形成する」ということ ・「保育者」の免許・資格	事前学習	教科書 pp. 12~13、22~23 を熟読しておくこと。
		事後学習	キャリア形成と保育職について復習し、理解を深める。
第6回	保育者のためのキャリア形成② ・「養成校で学ぶ」ということ	事前学習	教科書 pp. 42~47 を熟読しておくこと。
		事後学習	養成校で学ぶということ、保育者のキャリアについて復習し、理解を深める。
第7回	保育職を選択するという① ・「保育」との出会い	事前学習	教科書 pp. 31、56 を熟読しておくこと。
		事後学習	自らの「保育」との出会いについて再度振り返り、目指すべき保育者像をしっかりとイメージする。
第8回	保育職を選択するという②	事前学習	教科書 pp58~64 を熟読しておくこと。

	・保育職へと向かっていくとは？	事後学習	保育職へ向かっていく自らの将来像をイメージする。
第9回	保育職を選択するということ③ 保育所での保育士の仕事	事前学習	教科書 pp. 68～79 を熟読しておくこと。
		事後学習	保育士の仕事について熟考する。
第10回	保育所以外での保育士の仕事① ・児童厚生施設・乳児院での保育士の仕事	事前学習	教科書 pp. 96～101 を熟読しておくこと。
		事後学習	各施設の内容について理解を深める。
第11回	保育所以外での保育士の仕事② ・児童養護施設・児童自立支援施設での保育士の仕事	事前学習	教科書 pp. 100～101 を熟読しておくこと。
		事後学習	各施設について理解を深める。
第12回	保育所以外での保育士の仕事③ ・母子生活支援施設・障害者入所施設での保育士の仕事	事前学習	教科書 pp. 106～109 を熟読しておくこと。
		事後学習	各施設での保育者の役割について理解を深める。
第13回	保育所以外での保育士の仕事④ ・児童発達支援センター・児童家庭支援センターでの保育士の仕事	事前学習	教科書 pp. 110～113 を熟読しておくこと。
		事後学習	各施設について理解を深める。
第14回	保育所以外での保育士の仕事⑤ ・放課後児童健全育成事業（学童保育）	事前学習	教科書 pp. 114～115 を熟読しておくこと。
		事後学習	施設の特徴をについて理解を深める。
第15回	保育所以外での保育士の仕事⑥ 放課後等ディサービス	事前学習	教科書 pp. 116～117 を熟読しておくこと。
		事後学習	各施設について理解を深めること。
期末試験			